

## 平成27年度 吹田市第2次環境基本計画改訂版の進捗状況に係る環境審議会評価（案）に対する意見一覧

No.	意見種類 1 修正 2 追加 3 削除 4 その他	目標	意見	修正（案）、考え方など
1	2 追加	1 限りあるエネルギーを大切に使う低炭素社会への転換	エネルギー消費量および温室効果ガス排出量の1/3を占める業務部門が増加しており大きな課題である。業務部門の対策の重要性をもっと強調すべきではないか。 ＜追記案＞第3パラグラフ とりわけ業務部門の削減が重要であり、そのためにも公共施設においては、・・・	ご意見のとおり、業務部門の削減が課題と考えていますので、追記案のとおり記載します。
2	2 追加	1 限りあるエネルギーを大切に使う低炭素社会への転換	「エネルギー消費量については、このままでは平成32年度（2020年度）の目標達成が極めて困難な状況であることから、平成28年（2016年）3月に策定した「吹田市地球温暖化対策新実行計画（改訂版）」において定めた施策を積極的に取り組んでいく必要があります。」とありますが、「目標達成が極めて困難な状況」であるならば、新実行計画の取組みによって目標達成の見込みの可能性はあるのか？より効果的な目標達成にむけた取組みを記載してはどうか？	吹田市地球温暖化対策新実行計画（改訂版）において定めた施策につきましては、市が率先して省エネルギー機器を導入することや再生可能エネルギーの利用を促進することなどの温暖化対策に関する施策に限らず、市民・事業者の温暖化対策を促進する啓発施策等も含まれたものであり、目標達成に向けた効果的な施策を網羅的に記載したものとなっています。このため、同計画の施策に積極的に取り組むことができれば、目標の達成に向けたエネルギー消費量の削減が期待できるものと考えています。
3	1 修正	1 限りあるエネルギーを大切に使う低炭素社会への転換	エネルギー消費量の目標達成が困難である点について、「なお」と付随的に書かれているが気になる。代表指標であり、もっと強調すべきではないか。	ご意見を踏まえ、「なお」を「また」に修正します。
4	2 追加	1 限りあるエネルギーを大切に使う低炭素社会への転換	市域の温室効果ガスの排出量についても達成困難であることを記載すべきである。（市民・事業者・行政にさらなる意識喚起を促すため。）	市民・事業者・行政にさらなる意識喚起を促すという観点からのご意見を踏まえ、最終段落に以下の記載を追記します。 【追記案】 エネルギー消費量、市域の年間温室効果ガス排出量及び吹田市役所の事務事業に伴う温室効果ガス排出量については、・・・。
5	1 修正	2 資源を大切にする社会システムの形成	些細なことですが、持参率とした方がよいかと思えます。「事業者によるマイバック持参率向上のための取組により、ごみの減量やリサイクル、マイバックの持参率について、一定の効果が現れています」	ご指摘の「ごみの減量やリサイクル、マイバックの持参について、一定の効果が現れています」の部分につきましては、市民の行動として「ごみの減量を行っていること」「リサイクルを行っていること」「マイバックの持参を行っていること」について、一定の効果が現れているということを表現しておりますため、「持参」→「持参率」の文言修正は意味が異なることとなりますので、原文のままとさせていただきます。

## 平成27年度 吹田市第2次環境基本計画改訂版の進捗状況に係る環境審議会評価（案）に対する意見一覧

No.	意見種類 1 修正 2 追加 3 削除 4 その他	目 標	意 見	修正（案）、考え方など
6	4 その他	2 資源を大切に作る社会システムの形成	平成28年度（2016年度）に中間見直しを行う「吹田市一般廃棄物処理基本計画」において、市民・事業者との連携・協働の取組を更に進める施策として、雑誌などの資源化が進んでいないごみの分別施策に取り組む必要がある、とのことであるが、古紙や雑誌については、一定地域と連携した分別が進んでいるのではないかと。	ご意見のとおり、古紙や雑誌については、自治会や子供会などによる集団回収を実施しており、取組が進んでいます。申し訳ありませんが「雑誌など」は誤記ですので「雑紙など」に修正します。
7	2 追加	2 資源を大切に作る社会システムの形成	代表指標である市民1人当たりのごみ排出量はそのまま推移すれば達成可能であるが、もう一つのリサイクル率はこのままでは極めて達成が困難である。その旨を明示し、対策を追記できないか。	代表指標である市民1人当たりのごみ排出量がそのまま推移することで目標を達成するかにつきましては、減少の割合が低くなっていることを踏まえ、原文のままとさせていただきたいと思います。 リサイクル率の目標達成が極めて困難であることにつきましては、ご意見のとおりですので、3行目に以下の記載を追記します。なお、対策につきましては、7行目及び11行目以降に取組として、「廃棄物減量等推進員制度の活用による資源ごみの分別排出の徹底」や「雑紙などの資源化が進んでいないごみの分別促進施策の立案」を記載しています。  【追記案】 リサイクル率がここ2年減少しているとともに、・・・マイバック持参率が横ばいとなっており、両指標の目標達成が極めて困難な状況となっています。
8	2 追加	2 資源を大切に作る社会システムの形成	リサイクル率、ごみの排出量に係る各種指標、マイバック持参率について、目標達成が困難と思われる現状について記載すべきである。	リサイクル率及びマイバック持参率につきましては、上記No.7記載のとおり、ご意見を踏まえた記載を行います。 ごみの排出量に係る各種指標につきましては、本年度増加に転じていますが、過年度の減少傾向を踏まえ、来年度以降の実績を確認したうえで目標達成が困難であるかを判断いただきたいと思いますので、本年度の評価としましては、原文のままとさせていただきたいと思います。
9	2 追加	4 みどりを保全・創出・活用し、市民に親しまれるまちの形成	市域面積に対する緑地面積の割合および市民1人当たりに対する都市公園面積の評価が×となっている。この理由の説明が審議会評価にも必要ではないか。 ×の評価はこの2項目とCO2排出量のみで、CO2排出量については、その理由が記載されている。	ご意見のとおり、3行目以降に以下の記載を追記します。  【追記案】 平成26年度（2014年度）の市域面積に対する緑地面積の割合が把握されていますが、生産緑地地区面積等が減少したため、平成21年度（2009年度）と・・・また、人口増加により市民1人当たりに対する都市公園面積も減少しています。

## 平成27年度 吹田市第2次環境基本計画改訂版の進捗状況に係る環境審議会評価（案）に対する意見一覧

No.	意見種類 1 修正 2 追加 3 削除 4 その他	目標	意見	修正（案）、考え方など
10	2 追加	4 みどりを保全・創出・活用し、市民に親しまれるまちの形成	市域の緑被率の目標達成が困難である現状について記載すべきである。	市域の緑被率につきましては、平成25年度に調査が実施されて以降の調査が実施されておらず、本年度は評価を行っていません。また、目標年度が平成37年度となっていますので、今後の調査結果を踏まえ、目標達成が困難であるかを判断いただきたいと思います。
11	2 追加	4 みどりを保全・創出・活用し、市民に親しまれるまちの形成	都市計画部や土木部等との連携を強化する必要があることを記載すべきである。	吹田市第2次基本計画改訂版におきましては、本分野の各指標を掲載しており、環境審議会にて評価をいただいておりますが、施策の進行管理につきましては、吹田市第2次みどりの基本計画において行うこととしております。また、本市の部局間の連携につきましては、具体的な施策と関連する内容と考えますので、本審議会の評価としては原文のままとさせていただきます。
12	2 追加	5 快適な都市環境の創造	バリアフリー化率については、増加傾向ながら、目標達成のためには加速度的に取り組みを進める必要があるよう記載すべきである。	ご意見及び自己評価を踏まえ、7行目に以下の記載を追記します。 【追記案】 <u>ただし、移動経路のバリアフリー化率の目標達成のためには、加速度的に取組を進める必要があります。</u>
13	2 追加	重点プロジェクト	重点プロジェクトでは、「太陽光パネルの導入などの施設面での整備を進める必要があります」と記載されているが、消費電力の削減の大きいLED照明化も記載されてはどうか。（自己評価でもLED照明化は「○」になっており、導入しやすさからも記載が望ましいと思います。）	本件につきましては、吹田市第2次環境基本計画改訂版P34の学校での環境教育の推進の取組内容②に「太陽光発電、太陽熱利用など再生可能エネルギーの導入」を掲げており、本審議会評価が、この吹田市第2次環境基本計画改訂版の進捗状況について評価を行うものであることを踏まえ、原文のままとさせていただきます。
14	2 追加	重点プロジェクト	環境パートナーシップの推進について、新たに子ども版環境家計簿を使用した授業を小学校で実施していることから、その取り組みについて記載してはどうか。	ご意見を踏まえ、14行目に以下の記載を追記します。 【追記案】 <u>アジェンダ21すいたとの連携・協働による取組として新たに小学校3校における子ども版環境家計簿を使用した授業を実施しているほか、・・・。</u>
15	4 その他	その他	重点プロジェクトにおいて、自己評価が○（改善傾向：前年度と比較して取組内容が改善・拡充されている場合）となっている場合においては、どの部分が該当するかを下線等により明示すべきである。	ご意見を踏まえ、来年度以降の資料作成に反映します。